

2026 年度外国学校卒業学生特別選考小論文問題（第 2 種）

2026 年 2 月 25 日 9 時 30 分～12 時

(注意) 解答は、A・B それぞれ解答用紙 1 枚で解答すること。

科 類	文科一類
-----	------

受験番号	G					
------	---	--	--	--	--	--

※上欄に、受験番号を記入しなさい。

A（日本語で解答する問題）

現代の様々な社会問題の解決に向けた取組みの中で、複数の個人により構成される各種の団体・共同体等（ただし国家・地方自治体を除く）はどのような意義と限界を有しうるだろうか。できる限り性格や役割が異なる団体・共同体等の具体例を 2 つ以上挙げながら論じなさい。

B（出願時に選択した日本語以外の言語で解答する問題）

多数決による意思決定は、どのように正当化されうるだろうか。あるいは、多数派の意見が社会全体にとって望ましい結果をもたらさない場面があるとすれば、それはどのようなものだろうか。意思決定を多数決で行うことの意義や正当性を整理したうえで、その一方で生じる問題点を具体的に挙げなさい。そのうえで、問題点を補う、あるいは緩和するために考えられる制度や仕組みについて、あなたの考えを論じなさい。